

試合番号 : 285		試合会場 : スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)				観客数 : 2,697			
開始時間 : 12:05		終了時間 : 13:53		試合時間 : 01:48		主審 : 富田 博一			
副審 : 山本 晋五		通算		25 第1セット 19		パナソニックパンサーズ			
ウルフドッグス名古屋		2勝 1敗 ポイント: 10		25 第2セット 20		通算 1勝 2敗 ポイント: 5			
監督コメント	本日も我々ウルフドッグス名古屋はたくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。皆様のご声援や日ごろからのサポートのおかげで最後までプレーすることができました。		3	21 第3セット 25		1	監督コメント		
	ファイナル4の2戦目で惜敗しましたが、その直後のミーティングでは最後まで闘った選手たちを称えました。しかしながら、今日の対戦相手にはシュテューラーラウンドで2連敗しており、簡単なものではありませんでした。この状況下で選手たちはチーム一丸となって、常に一番前に前を向いて、闘ってくれたと思います。この素晴らしいファイナル4を終え、ファイナル姿勢でファイナルの場においても残り1戦です。来週は最高のステージのために1週間を有効に使って、チーム全員で挑みたいと思います。			25 第4セット 16					
	ファイナルへ進出するのはどちらになるのか、ウルフドッグス名古屋とパナソニックパンサーズの両者負けられない一戦。			第5セット				悔しい結果でしたが、最後まで戦って諦めなかったと思います。今シーズンは非常にタフなシーズンでした。でもその中ここまで来れた選手、スタッフ本当にお疲れ様でした。	
	第1セット、立ち上がりからWD名古屋は高いブロックでチャンスを作り、クレクを中心に得点を重ねる。対するパナソニックは大塚が要所でスパイクを決め得点を重ねる。WD名古屋は永露や前田のサービスエースでパナソニックを引き難し、セットを先取した。								
	第2セット、WD名古屋は序盤、高梨がブロック、スパイク、サービスエースと大車輪の活躍で得点を重ねリードする。追いかけるパナソニックは深津の巧みなトスワークで奮闘するも、WD名古屋はこのセットだけで計5本のブロックを決めるなど鉄壁のディフェンスで、セットを連取した。								
第3セット、パナソニックはクビアックがWD名古屋・高梨のツーアタックに反応しブロックポイントを守り、セットを奪取した。									
第4セット、WD名古屋は高梨の強烈なスパイクサーブで相手を崩し6連続得点の足掛かりを作るなど、序盤から有利に試合を運び、後がないパナソニックは、西山の連続ブロックにより盛り返し、会場もヒートアップする。しかし、WD名古屋はこの試合最多25得点と大一番で無類の強さを発揮するクレクにボールを集めセットを守り、ファイナルへの切符を手にした。									

試合番号 : 286		試合会場 : スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)				観客数 : 2,217			
開始時間 : 15:05		終了時間 : 17:19		試合時間 : 02:14		主審 : 戸川 太輔			
副審 : 原 啓之		通算		25 第1セット 20		堺ブレイザーズ			
サントリーサンパース		3勝 0敗 ポイント: 8		21 第2セット 25		通算 0勝 3敗 ポイント: 1			
監督コメント	本日もサンパースへのご声援ありがとうございます。スタートでコートに立った選手は特に精神的な面での準備が難しかったとは思いますが、いつでも自分の力を100%発揮する難しさを感じた選手もいれば、発揮できた選手もいたと思います。途中から出場した選手はファイナル4という素晴らしい環境で試合ができたことは良い経験になったと共に、今後の成長に必要なことを感じる事ができたと思います。		3	25 第3セット 18		2	監督コメント		
	来週もスローガンである「PLAY HARD」を実践し、優勝目指して頑張ります。引き続きサンパースへの熱いサポートをよろしくお願ひします。			27 第4セット 29				混戦のV・レギュラーラウンドを勝ち抜き、ファイナル4に進出するも最終的には悔しい結果に終わってしまいました。しかし、このチームはまだまだ強くなれるポテンシャルを秘めたチームだと思います。現状の課題に向き合っ日々精進し、今まで以上に進化したブレイザーズをお見せ出来るよう、努力を積み重ねていきます。今シーズンも熱い応援ありがとうございます。	
	第1セット、両チームともにサイドからの攻撃を軸に点数を重ねる。中盤、サントリーは藤中(謙)のアタック、ブロックによる3連続得点により先行。堺はバーノン、樋口のアタック、出東田のブロックで追いつくも点差は縮まらず。サントリーがセットを先取した。								
	第2セット、堺は迫田、出東田の攻撃により3-0と好スタート。サントリーはムセルスキー、佐藤のアタックにより点数を稼ぎ10-10で追いつくと、一進一退のゲーム展開となる。中盤に堺が山口のブロック、サービスエースにより点差を拡げると、勢いそのままに堺がこのセットを取り返した。								
	第3セット、サントリーは山本、養、栗山の得点で先行。堺は攻守ともに躍動する鶴野、樋口の得点で追従し、13-13で追いつく。ここから、強打の打ち合いとなるゲーム展開。堺は竹元のブロックで点数を重ねるが、サントリーは栗山、養、鎌田のアタックなどにより点差を8点と広げてセットを勝ち取った。								
第4セット、サントリーは序盤から強烈なサーブで堺の守備を崩し、鎌田、栗山のアタックで攻める。対する堺は軟打を交えたサーブでサントリーの守備を崩し、重留、樋口のアタック、ブロックで得点を重ねる。終盤、堺の重留、樋口が強烈なアタックで意地を見せデュースを勝ち取り、フルセットに突入する。									
第5セット、サントリーは山本のブロック、佐藤のセンターからの強烈なスパイク、鎌田のサービスエースで3連続得点と好スタート。堺は重留、樋口、迫田のアタック得点を重ねるも、勢いを止められず、サントリーが勝ち取った。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		第1セット		通算		
-勝 -敗 ポイント: -						-勝 -敗 ポイント: -		
監督コメント			第2セット		監督コメント			
			第3セット					
			第4セット					
			第5セット					
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算		第1セット		通算		
-勝 -敗 ポイント: -						-勝 -敗 ポイント: -		
監督コメント			第2セット		監督コメント			
			第3セット					
			第4セット					
			第5セット					
要約レポート								